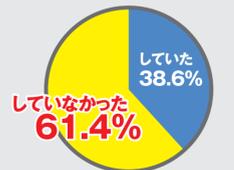


東日本大震災、熊本地震
北海道胆振東部地震
豪雨・台風 他

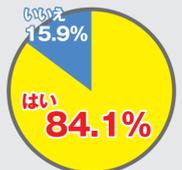
経験者1,000人の声から生まれた全41点の必需品!!

経験者1,000人に聞きました。

問:1 災害が起こる前に備えをしていましたか?



問:2 少しでも備えをしておけばよかったですか?



問:3 被災された経験から、防災についてのアドバイスがありましたら教えてください。

- 日頃から災害に対する備えは大切。
- 水と2、3日分の食料は必須。
- 非常食は常備したほうがいい。食べ物スーパー、コンビニからなくなった。
- 防災グッズは必要。
- 他人事ではなく、身近な出来事として考えて欲しい。
- 備えあれば憂いなし。
- 豪雨や地震などで最低限出来る工夫は常にしておいた方がいいと思う

問:4 実際に備えていたもので、災害時に役立つものは何ですか?

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| ★第1位 懐中電灯 | ★第24位 ハザードマップの確認 |
| ★第2位 飲み水 | ★第25位 救急箱 |
| ★第3位 ラジオ | ★第26位 給水袋・ポリタンク |
| ★第4位 レトルト食品・インスタント食品 | ★第27位 使い捨てカイロ |
| ★第5位 乾電池 | ★第28位 歯磨きセット |
| ★第6位 缶詰 | ★第29位 筆記具 |
| ★第7位 カセットコンロ | ★第30位 レインコート |
| ★第8位 タオル | ★第31位 養生テープ |
| ★第9位 災害用非常食 | ★第32位 消火器 |
| ★第10位 軍手 | ★第33位 ビニールシート |
| ★第11位 風呂の残り湯 | ★第34位 ロープ |
| ★第12位 ろうそく | ★第35位 プールシート |
| ★第13位 ウェットティッシュ | ★第36位 スリッパ |
| ★第14位 ポリ袋 | ★第37位 災害用トイレ・携帯トイレ |
| ★第15位 マスク | ★第38位 断熱シート |
| ★第16位 非常灯 | ★第39位 家具固定マット |
| ★第17位 ガムテープ | ★第40位 戸棚の飛び出し防止フック |
| ★第18位 気象情報や避難情報の確認 | ★第41位 ガラス飛散防止フィルム |
| ★第19位 避難場所の確認 | ★第42位 ガス・電気自動消火・消灯 |
| ★第20位 家具転倒防止器具 | ★第43位 土のう |
| ★第21位 ラップ | ★第44位 助けを呼ぶ笛 |
| ★第22位 ポータブル充電器 (携帯電話・スマートフォン用) | ★第45位 ポータブルテレビ |
| ★第23位 ナイフ・はさみ | |
- ★=本品に同等品がセットされています。
※上記アンケート結果は、北海道胆振東部地震、熊本地震、東日本大震災、新潟県中越地震、豪雨・台風被害を経験された方を対象にインターネット上で2021年8月に実施したアンケート結果に基づいています。



防災セット

災害時 3日間を乗りきる!!

すでに **22万人** に選ばれた信頼の防災セットです。

シリーズ累計販売数が22万セットをこえたココチモの「防災セット」。「これで安心できました」「とても役立った」という喜びと信頼のお声をいただいております。特にオリジナルで制作したカード付きリュックサックは、「体力に自信のない私でも安心」と女性やご年配の方に好評です。

6 「非常時のための心構え」 「あんしん手帳」をお届けします。

防災は、一段取り分け、事前の備えや心構えが重要で、そこで、専門家監修のもと、防災の基礎知識や役立つ情報をまとめた「あんしん手帳」を制作しました。いざという時に慌てないよう、「家族みんなでお読みいただきたい内容です。」

5 「美味しい」「安心」な防災食に「こだわり」しました。

非常時にこそ、健康を維持するために、元気を出すために、美味しく信頼できるものを口にするのが重要です。本セットで揃える水やお茶は、日本では製造されたもので、安心して召し上がっていただけます。

4 カート付きリュックサックを制作！他では手に入りません。

防災グッズは、いざという時、サッと持ち出せることが何より肝心。そこで、鞆のリュック「E」に協力して、お持ち出しのリュックサックを、オリジナルで制作しました。重さや不安、という方もひいて運べるので大変便利です。

3 「自身では揃えにくいものが、一度に手に入ります。」

長期保存が可能な食料や飲料水、避難生活を送るための災害用トイレ、エアーマット、携帯の充電器としても使える多機能ラジオライトなど、自身では揃えにくいものがまとめて手に入ります。

2 「3日間を乗りきる」を想定した充実のセット内容。

大災害発生から3日間は支援が届かないことが想定されます。本セットには災害後、特に困る食料とトイレをおおむね3日分用意。トイレは1日5回として、自分5人分セットを用意しています。

1 経験者1,000人の声から生まれた必需品が勢揃い!

いざという時、本当に必要なものは何か。経験者北海道胆振東部地震、熊本地震、東日本大震災、新潟県中越地震、豪雨・台風1,000人にアンケート調査を行い、「あつてよかった」「なくて困った」災害時の必需品を厳選しました。

「ココチモ」の防災セット6大特長

防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺 実氏に聞く

「防災は「必ず起きる」と考えて「備え」をしよう。」

東日本大震災(2011年)以降も日本では、地震、台風、水害、土砂災害など、毎年のように災害が発生しています。その都度、私は現地に入り、つぶさに取材してきました。その経験の積み重ねからわかったのは、災害は「必ず起きる」と考えて「備え」をしよう。防災対策は、常に「新しい災害の顔」として発生していき、日本中どこかで発生してもおかしくありません。次に同じような災害が起きた際に、少なくとも同じ災害を繰り返さないための対策も、同じく被害をできるだけ小さくするための対策も必要です。

個人のレベルで必要なのは、飲料水や食料を多めに備蓄したり、家具や転倒防止金具を付けたりと、これまで起きる災害と同程度以上の状況になる想定で備えることが必要となります。災害は「起きるかもしれない」40年余り、災害現場取材し、被災者の声を聞いて、私が痛感したのは「自分の命自分で守るしかない」ということです。ぜひ、今すぐ自分を守るための「備え」を始めてください。

渡辺 実氏
防災・危機管理ジャーナリスト
自身が計画中に携わった団体が被災者支援活動(1978年)で経験を積み重ね、防災活動に取り組みははじめる。防災、日本と海外の災害現場に足を運び、報道活動を通じて、被災者・復興の啓蒙に力を注いでいる。テレビ出演や執筆活動などもを通じて、市民レベルに立った活動を続けている。



明日を生きるために。

いま、5人に4人が地震に備えている時代です。

あなたの防災、大丈夫ですか?

「3日間自力で乗りきる。」

「備えすぎることはない。」

「無駄や面倒と思わず備えをしっかりと。」

「皆が困る時は、誰も助けることができないので、自分の事は自分が対応する普段の準備が大切。」

「自分のところだけは大丈夫というところはあり得ない。」

「被災者の経験談を他人事と思わないで災害に備えてほしい。」

「他人はあてにしないで自力で生き延びるだけの備蓄は必要。」

「物資はすぐに来ない。」

「安全な時にこそ、災害に備えることが必要。」

「日ごろの備えと心構え。」

日本防災士機構認定 防災士が厳選

今後の地震に対して、何らかの備えをしていますか?

何らかの備えをしている (79%)

まったくしていません (21%)

「災害が起こってから最低3日間は自力で乗りきる」が防災の基本とされる近年、いざという時にあなたを守るのは、あなた自身しかいません。それでも、「何から備えればいいのかかわからない」「いついつ集めるのは大変...」そんなあなたにお薦めなのがこの「防災セット」。災害時の必需品が、ハッと二度に揃います。充実の41点は災害経験者1,000人にアンケート調査を行い、「あつてよかった」「なくて困った」の声を参考に、防災士が厳選したもので、便利で使いやすいグッズを取り入れたセットです。

本当に必要なものからでは遅いから、お手元に今すぐ「安心」の備えを、強くお薦めいたします。